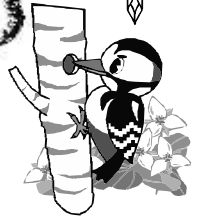




議会だより

なよろ



5

NO.

2007.7.1 発行



「チャレンジデー」低学年の部で優勝の
実力ある力強い綱引き（下多寄小学校）



上 運動会で美しい響きを聞かせてくれた
鼓笛隊のドリル（東小学校）
下 応援にも力の入った高学年紅白対抗リレー（ " ）

第2回定例会

主 な 内 容

新議会の構成	2 ~ 4
定例会で決まったこと	5
特別委員会を設置しました	6
一般質問に11人	7 ~ 12
用語解説	12
各委員会の報告	13
へこたれない・議会日誌・編集後記	14

議会構成が決まりました

議長に小野寺一知氏 副議長に熊谷吉正氏



小野寺 一知 議長

略歴
旧名寄市議会で総務文教常任委員長、産業常任委員長を経験。現在6期目の64歳。会派は市政クラブに所属。



熊谷 吉正 副議長

略歴
旧名寄市議会で議会運営委員長、新名寄市議会で総務文教常任委員長を経験。現在4期目の59歳。会派は市民連合に所属。

総務文教常任委員会

委員長



佐藤 靖 議員

副委員長



岩木 正文 議員

委員



川村 幸栄 議員



佐々木 寿 議員



日根野 正敏 議員



高見 勉 議員



田中 好望 議員

所管事項
総務部、会計室、選挙管理委員会、公平委員会、監査委員、教育委員会、名寄市立大学及び市立名寄短期大学の所管に属する事項

民生常任委員会

委員長



渡辺 正尚 議員

副委員長



佐藤 勝 議員

委員



大石 健二 議員



持田 健 議員



黒井 徹 議員



熊谷吉正 議員

—所管事項—
生活福祉部、名寄市立総合病院及び名寄市風連国民健康保険診療所の所管に属する事項

経済常任委員会

委員長



木戸口 真 議員

副委員長



高橋伸典 議員

委員



植松正一 議員



山口祐司 議員



谷内 司 議員



宗片浩子 議員

—所管事項—
経済部及び農業委員会の所管に属する事項

建設常任委員会

委員長



中野秀敏 議員

副委員長



竹中憲之 議員

委員



駒津喜一 議員



川村正彦 議員



田中之繁 議員



東 千春 議員

—所管事項—
建設水道部の所管に属する事項

議会運営委員会

委員長 黒井 徹
副委員長 川村 正彦
委員 佐藤 靖
" 大石 健二
" 佐々木 寿勝
" 佐藤 勝
" 高見 勉
" 谷内 司
" 東 千春
" 宗片 浩子
" 中野 秀敏

議会報特別委員会

委員長 佐藤 勝
副委員長 山口 祐司
委員 竹中 憲之
" 川村 幸栄
" 佐々木 寿
" 持田 健
" 渡辺 正尚

上川北部消防事務組合議会

小野寺 一知
高見 勉
田中 好望

名寄地区衛生施設事務組合議会

川村 幸栄
高見 勉
山口 祐司
川村 正彦
宗片 浩子

名寄市監査委員

東 千春

名寄市農業委員(議会推薦)

植松 正一
黒井 徹

名寄市議会議員会

会長 田中之 繁
副会長 宗片 浩子
幹事 竹中 憲之
" 大石 健二
" 日根野 正敏
監事 川村 幸栄
" 佐々木 寿

林活議員連盟

会長 植松 正一
副会長 駒津 喜一
事務局長 大石 健二
幹事 木戸口 真
" 渡辺 正尚
監査 持田 健
" 谷内 司

名寄市都市計画審議会

委員 竹中 憲之
" 中野 秀敏

各会派構成が決まりました

▶▶市政クラブ◀◀

会長 東 千春
副会長 宗片 浩子
" 駒津 喜一
幹事長 黒井 徹
副幹事長 岩木 正文
幹事 持田 健
会計 佐々木 寿
小野寺 一知

▶▶市民連合◀◀

会長 高見 勉
副会長 植松 正一
" 竹中 憲之
幹事長 佐藤 靖
熊谷 吉正

▶▶凜風会◀◀

会長 川村 正彦
副会長 木戸口 真
幹事長 佐藤 勝
会計・書記 日根野 正敏

▶▶緑風クラブ◀◀

会長 中野 秀敏
副会長 山口 祐司
幹事長 田中 好望
会計 大石 健二

▶▶清風クラブ◀◀

会長 谷内 司
幹事長 田中之 繁

▶▶まちづくり◀◀

渡辺 正尚

▶▶公明◀◀

会長 高橋 伸典

▶▶日本共産党◀◀

川村 幸栄



内は当選回数(旧自治体から通算)

賛成 13
反対 12

1票差で原案通り可決

徳田地区の特別用途地区建築条例

平成19年第2回定例会が、5月31日から6月21日まで会期を6日間延長して22日間開かれました。議案等の審議では、「名寄市特別用途地区建築条例の制定について」をはじめ議案審議で12件、請願で1件、報告で10件、諮問で1件、意見書で7件が可決されました。一般質問は、13日から15日の3日間行われ、11人の議員が市政に関する諸課題について質問しました。

主な条例 ◆◆◆◆◆◆◆◆

名寄市特別用途地区建築条例の制定
都市計画法に基づき、徳田地区の199haが特別用途地区となりました。

特別用途地区における土地利用の適正化及び効率化を図るため、建築基準法により、名寄市特別用途地区建築条例を制定するもの。

議員13名による名寄市特別用途地区建築条例調査特別委員会（委員長 駒津喜一議員、副委員長 川村正彦議員）を設置し、審査を付託しました。本会議では委員長の報告を受け、採決の結果原案の通り可決しました。

行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の制定

名寄市の現行の各条例では、申請・届出等の手続きに関し、書面による手続きに限定されていますが、利便性の向上と行政事務の簡素化、効率化を図るため、書面の提出等に代えて、電子的な手法（インターネット）で申請・届出することができるよう、条例を制定するものです。

主な補正 ◆◆◆◆◆◆◆◆

住宅リフォーム促進助成事業費

住宅リフォーム促進助成事業の利用が好調で、当初予算に計上している50件分1,000万円では不足することから、50件分1,000万円を追加し、予算額を2,000万円としました。

天文台整備事業費

本年度中に実施設計を行い、平成20年度に着工、平成21年度の完成を目指すため、委託料を当初予算80万円に4,645万円を追加し、予算額を4,725万円としました。

智北6遺跡埋蔵文化財発掘調査事業費

北海道開発局からの委託による、名寄バイパス工事に伴う発掘調査事業の委託料等で、1,272万4,000円の全額を追加しました。

人事案件 ◆◆◆◆◆◆◆◆

人権擁護委員候補者の推薦に同意しました。

山崎 博信氏（再任）

名寄市西2条南10丁目1番地

佐藤 源嗣氏（再任）

名寄市字徳田65番地127

審議日程

5月31日(木)	15日(金)
議会運営委員会	一般質問
開会	20日(水)
行政報告	議会運営委員会
議案の審議	21日(木)
議会運営委員会	特別委員会報告
6月13日(水)	追加議案の審議
一般質問	意見書の審議
議会運営委員会	閉会
14日(木)	
一般質問	

可決された意見書

- 新たな「地方公共団体財政健全化法」に関する意見書
- 異常気象による災害対策や地球温暖化対策の強化・拡充を求める意見書
- 医師・看護師不足の解決と地域医療をまもる意見書
- 地方財政に関する意見書
- 「年金加入記録」の徹底的な解明を求める意見書
- 道路整備に関する意見書
- WTO及び日豪EPAなど重要農産物の貿易交渉に関する意見書

建築条例特別委員会

委員長表決で可決

延べ9回にわたり議論重ねる

定例会に提出された議案第1号「名寄市特別用途地区建築条例の制定」について議会としては、名寄市の将来にかかわる案件であることから、13人による特別委員会を設置し、都合9回にわたる委員会を開催。採決の結果、賛成6人、反対6人の可否同数となったため、委員長の裁決により、可決すべきものとした。

名称を「名寄市特別用途地区建設条例調査特別委員会」とした同委員会は、市政クラブ4人、市民連合3人、凜風会2人、緑風クラブ2人、清風クラブ1人、1人会派1人(公明)の13人で構成。委員長に駒津喜一議員(市政クラブ)、副委員長に川村正彦議員(凜風会)を選出し、約10項目の資料要求、6人の参考人招致を決め、6月6日から実質審議に入った。

審議は、条例の内容、地権者や市民の理解、都市計画審議委員会の経過、コンパクトなまちづくり、商店街への影響、大型店などから市に届いた内容証明書付の文書に対する見解、訴訟となった場合の対応など多岐にわたって行われるとともに、参考人招致した関係者からも率直な意見が披れきされた。

当初委員会としては、真しで慎重な議論を前提としながらも、会期末の6月15日までに結論



を導くこととしていたが、進出を目指す大型店経営者が同20日でなければ日程調整がきかない事態となったため、急きょ議会運営委員会(黒井徹委員長)で改めて協議となった。参考人の公平性を期するため全会一致で同経営者の意見を聞いたあとに、特別委員会としての結論を導くべき、となったため、会期を21日まで延長する、という異例の取り組みとなった。

20日に再開となった特別委員会は、委員会としての結論を出す、ということもあり、満員の傍聴者が見つめる中で行われ、名寄進出を目指す大型店経営者が参考人として意見を述べ、委員からの質疑を終えた後、付託となった名寄市特別用途地区建築条例についての採決となった。

起立による採決の結果、条例案に賛成委員は6人、反対委員6人と、可否同数となったため、駒津委員長が名寄市議会委員会条例第16条第1項に基づき、委員長の表決権を行使して「原案の通り可決すべきもの」と決し、多くの市民が注視する条例案について、延べ9回にわたり議論を重ねた特別委員会を閉会とした。



上 活性化が期待される名よせ通り商店街
右 大型店進出予定の徳田地区



一般質問



夏の交流人口について

市政クラブ
岩木 正文 議員

ひまわり畑の展望

問 名寄の夏の観光地として定着し、多くの観光客が訪れている智恵文ヒマワリ畑の本年中止を発表したが、今後の経緯と展望は。夏のジャンプ台の観光施設利用についての考え方は。

答 種イモ畑に病害虫のシストセンチュウが広がる恐れがあり、発生すれば、智恵文地区の農業は壊滅的打撃を受けるため、本年中止をやむをえず決めた。今夏はMOA名寄農場のご厚意により、3カ所10haにヒマワリを作付けしてもらう。種子の支援や駐車帯の整備に協力していく。9月中にはヒマワリ畑の候補地を決めたい。ジャンプ台の利用は、一般者の安全確保が施されていない施設のため、観光利用は出来な

い。

道路の交通安全対策

問 箭原橋の改良に伴う通学路の安全対策は。春の道路の凍上によるデコボコは非常に危険であり、対応策は。

答 箭原橋については10月までに現在の暫定勾配6%を2.5%に改修工事が行われる。手押し信号機の位置は不都合がないか、関係機関と協議を進める。緊急性のある路線は改良舗装の事業化を計画し、道路機能を維持させる補修事業と併せた対応策を考えていきたい。

他の質問

・学力テストと特別支援教育



智恵文地区に広がるひまわり畑（18年）



選挙のあり方について

清風クラブ
谷内 司 議員

公平性について

問 4月8日に執行された知事及び道議会議員選挙、4月22日に執行の市議会議員選挙の際、投票所入場券が郵送されながら、宛先不明で返送となった入場券の実態と、その対処法は。また、有権者からの問い合わせについての対処は。

答 入場券は、知事選で25,398名に、道議選では25,261名に発送した。このうち、全体の0.5%の88枚が返送となっている。一方、市議選では25,141名のうち、同じく0.5%の81枚が返送だった。届かない入場券の問い合わせは、知事選で25件、市議選20件。住民票の異動届、転送願いを出していないため、説明をし理解を得たが、誤配もあったようで、宣伝活動を強化して

投票率の向上に努力する。

投票時間の誤記について

問 市議選の際の選挙公報で、投票時間の誤記があったが、確認作業はどうであったのか。また、発行に要した費用は。

答 校正漏れによる単純な誤りであり、今後は時間や人員をしっかりと配置し、ミスを犯さないように努める。費用は用紙代44,100円、配布手数料63,600円、その他費用で7,507円。選管としては、今後も投票率向上の努力をする。



期日前投票所（名寄庁舎）

一般質問



旧弊に捉われぬ対応を

緑風クラブ
大石 健二 議員

公務評価制度を早期に

問 市民に顔を向けて一所懸命に持てる力を発揮する職員、業務改善などの良いアイデアを持ち、自ら実現のために努力した職員と、あらぬ方向を見ながら成果も乏しく無為に過ごしている職員が同じ処遇であってはおかしい。職務年数や年功にとらわれることなく、意欲と才気に溢れた職員は年齢や性別にかかわらず、その力を遺憾なく発揮できる処遇を。

答 現段階では評価の範囲手続き等は確立されていないが、ご指摘のように頑張る職員の処遇を含めた評価のあり方を研究していく。

申請への取り組みは

問 ハードルが格段に高くなった新中活法¹の

認定申請を専任所員1名で行うのは物理的に困難だ。それぞれの分野で力を発揮するエキスパートを選び、タスクフォース(戦略専従班)を組織して「人を招き入れるマチづくり」を骨子に集中的に取り組むべきでは。

答 市役所内にプロジェクトを立ち上げ、官民一体で20年度末の認定申請に臨む。



人を招き入れるマチづくりが進められる名寄市街地



福祉政策の充実を

公 明
高橋 伸典 議員

出産時の経費軽減を

問 出産を控えた世帯の声として、出産前後の準備などで出費がかさむことから、出産一時金の貸し付けを他市町村では取り組んでいるが、出産育児一時金の受け取り制度の導入を含め、名寄市の取り組み状況は。

答 出産育児一時金貸付制度は、道国民健康保険団体連合会で実施しており、出産予定日の1ヶ月以内で、支給見込額の10分の8を貸し付けている。出産費用については、本人が立て替える形で直接払い、後日35万円が払い戻される。道内でも導入が進んでいる出産育児一時金受取代理制度については、名寄市でも4月から導入しており、今後も広く市民に周知していきたい。

ハートコール導入を

問 週2、3回程度独居老人宅に電話をして、安否を確認するハートコールの導入は。

答 市では、緊急通報システムや給食サービスに取り組む一方、4月に開設した地域包括支援センターに窓口を設置して健康悩み相談などに対応している。また、保健師による指導や訪問活動を実施しているが、行政対応にも限界があることから、今後、各関係団体などの協力を得て、充実に努めたい。

他の質問

- ・春先の道路補修の年次計画を



すこやかな成長を願って

一般質問



住民が快適な環境整備

市民連合
植松 正一 議員

攻めの農業展開を

問 合併後の中長期的指針が策定されたが、生産者や関係機関、団体が役割に応じて連携・協力し、活力と潤いのある農業を目指すため農業振興センターの役割が大きい。管理運営費を含め現状と対策は。

答 同センターは、農業技術や開発研究の実用化と普及を図るとともに、体質の強い農業生産振興の拠点施設であることから、所長他10名体制となっている。運営費の負担割合は、市と農協で7対3だが、今後協議して見直したい。

東地区の活性化対策は

問 緑丘第2団地跡地の具体計画は。また、地域住民が不便さを感じている商店の出店計画及

び移動販売などの可能性は。

答 第2団地跡地計画は、用途確定測量と現況測量は完了しており、基本的にも宅地分譲を考えている。一方、福祉施設の誘致なども可能と考えており、早急に検討したい。

商店の出店については、商工会議所と協議をしているものの、実現とはなっていない。移動販売車による取り組みを含め、実現に向けて努力したい。



早急な跡地利用が求められる緑丘第2団地跡



公平公正な広報を

市民連合
佐藤 靖 議員

都市計審決定前に発行

問 4月の道議選中、また都市計画審議会決定前に広報なよる4月号の号外として「都市計画用途地域に特別用途地区を設定」の文字が市民に周知された。その中では、選挙戦の争点となっていた大型店の徳田進出にかかわって「道路除排雪などの膨大な維持コストが発生」「中心市街地における治安が悪化する」などの表現もあり、公平公正な発行であったのか。今後は、広報のあり方を内規などで明確化すべき。

答 見出しなどの表現方法については、誤解を与えることも考えられるが、市民の皆さんへの周知と理解してほしい。選挙妨害にはならないと選挙管理委員会としては判断した。内規など

については、今後研究したい。

市立病院健全化等に全力を

問 市立総合病院の経営健全化、市民の皆さんに不快を与えない分庁方式、消費者保護、ノーレジ袋運動に全力で取り組むべき。

答 市立病院については、診療報酬改定など国の制度改正が鍵となるが、さらなる医師確保に努めるとともに、緒についた近隣自治体の協力も前進させたい。分庁方式で市民の不便とならないよう努める。消費者被害防止ネットワーク、ノーレジ袋運動にも前向きに取り組む。



4月広報で発行された号外

一般質問



市民の安全・安心

市政クラブ
佐々木 寿 議員

安全・安心なまちづくり

問 市の防災力の評価点は。また、国民保護計画の進捗状況と取り組みはどのようになっているのか。さらに、防災士の現状及び専門知識を保持する自衛官OBの雇用についての見解は。

答 防災力の評価点は、100点満点中、7.25点。国民保護計画は、3回の協議会での検討を経て18年度末に作成した。今後は、計画の主な内容等について広報なよりに特集記事を掲載し、広く市民に周知したい。また、武力攻撃という想定は難しいが、道内外各地の情報を収集して取り組みたい。防災士の資格者はいないが、資格取得者が多く出ることを期待する。自衛官OBの雇用は、何らかの力添えを含めて検討したい。

健康づくりについて

問 食育の実情は。また、健康づくりの一環で市民運動会を復活させてはどうか。

答 食育については、計画策定に向け庁内準備会を立ち上げ、現在進めている。市民運動会の復活提案は、時代の流れで納涼盆踊りに変化していることから難しい。

他の質問

・認定こども園について・名寄市障害者福祉計画の実情と自立支援法の取り組み



18年度名寄市防災訓練のようす
(風連地区)



地産地消の推進を

まちづくり
渡辺 正尚 議員

産業振興について

問 産業振興施策にはいろいろあるが、地産地消をより進める必要がある。推進に際しては、さまざまな人脈を活用し、自衛隊駐屯地に地場産品の活用を求めることも大切と考えるが見解を。

また、昨年から取り組んでいる「名寄アスパラのまちプロジェクト」は、産・学・官のまさしく産業クラスター²とを感じるが、これまでの経緯と今後の取り組みは。

答 駐屯地は、大量に農産物を消費しており、各関係機関と連携して取り組みたい。地産地消についても、地産地消推進協議会を立ち上げ取り組む。

市立総合病院について

問 平成10年には、地方センター病院の指定を受け、名寄市民や近郊住民にとって安心の出来る医療施設となっている。しかし、精神科医師が現在の2名体制から、以前のような3名体制が必要ではないか。それが、この地域にいる患者や家族の安心につながるし、経営安定に貢献できるのではないか。

答 集中治療などを行うICU病棟の新設や増改築工事により、医師確保にもつながると思う。

他の質問

・教育行政について



6月16日に開催された
第1回なよろアスパラまつり

一般質問



子育てしやすい街を

日本共産党
川村 幸栄 議員

市民負担の軽減を

問 今、言われている好景気が名寄ではなかなか実感できない中、定率減税の廃止などで住民税、国保税の負担がますます重くなっている。

国民健康保険は社会保障であると再確認して、地方自治法にある「住民の福祉の増進を図る・・・」を基本に「払いたくても高く払えない」ことのないようにしてほしい。

答 低所得者には、納税状況を確認し、世帯の状況を面談で相談し適正に執行したい。

乳幼児医療費の無料化

問 子育て世代やその親世代から「もっと子育てしやすい街にして」との声が寄せられている。名寄市独自の子育て支援が必要では。

乳幼児医療費の無料化は、子どもの命に直結し、子育て世帯の経済的負担軽減にとって大事な制度と考える。道南の北斗市では中学校卒業まで所得制限なしで入院・外来が無料。このように子育て支援の充実で近隣からの子育て世代の転入が増えている。この名寄市もそうなりたいたと思うが。

答 無料化は財政的に難しい。ひまわり子育て支援を行っているので、理解してほしい。

他の質問

・名寄農業高校の存続を・新天文台の建設資金について



「福祉の心」でまぢりくり



安全安心な環境を

市民連合
竹中 憲之 議員

遊具の点検整備は

問 公共施設等における遊具の点検整備及び望湖台の使用禁止となっている遊具の今後の対処と措置は。

答 点検は4月中旬に行い、不都合な箇所があれば補修または撤去し連休明けに使用可能。望湖台の遊具については、使用頻度を考慮し撤去を検討中。ローラー滑り台は、補修または撤去で検討をしたい。

住宅リフォーム助成事業の継続は

問 住宅リフォーム助成事業は3年間の時限付き事業であるが、市民の反響が大きいためだけでなく経済的にも大きな効果が出ている。継続の考えは。また、介護事業で同様の事業の併用は可

能か。

答 住宅リフォーム事業については、好評を得ているが事業の継続状況を見て判断する。また、介護事業との併用は出来るが、担当との打ち合わせを行う。介護事業は複数回の活用可能。

他の質問

・道路の維持管理について・名寄市立総合病院の将来の経営展望について・農業への支援策とポジティブリスト及びクリーン農業の推進は



風連望湖台自然公園遊具施設の改修を

委員会活動をお知らせします

総務文教常任委員会

新選良となって初の委員会は5月22日に開催し、智北6線遺跡埋蔵文化財発掘調査事業について、市立天文台の整備について、ピヤシリシヤンツェ看板設置工事について、健康の森クロスカントリーコースに関する調停についての4

件の報告を受け、理解を深めるための質疑を行った。

新天文台報告では、各委員も星空へのロマンに期待を寄せていた。



民生常任委員会

民生常任委員会は、5月25日に改選後初めての委員会を開催した。所管の部所より、戸籍の電算化事業について・保育料の統一・障がい者福祉計画等々20数項目にわたる説明を受け、各委員からは、今後の取り組みについて、多くの

質問が出された。市民に直接関わる保健・福祉・医療等を審議する委員会なので、しっかりと努めていきたい。



経済常任委員会

改選後初めての委員会を5月21日に開催し、19年度の市経済部全体の懸案事項について協議した。内容は、産業振興課からは住宅リフォーム事業や道の駅など4件をはじめ、農務課、耕地林務課、農業委員会にかかわる主要施策の概

要等の説明を受けた。

この日の委員会では、各種事業の共通理解が主眼だった。



建設常任委員会

5月23日に委員会を開催した。

議会改選後、初の委員会であるため、平成19年度の主要な建設事業の概要及び風連地区第1種市街地再開発事業について、担当職員より説明を受け審議を行った。

また、18年度除排雪の実施について報告を受けた。排雪ダンプ助成事業においては、少雪のため、対前年比35.7%であった。



議会運営委員会

当委員会は、5月28日に第2回定例会の会期、日程、議案を協議し、「名寄市特別用途地区建築条例の制定について」を特別委員会を設置し付託することを決めた。

31日には、同条例の制定に対する請願につい

ても付託することを確認。6月13日には21日まで会期を6日間延長とし、最終日に特別委員会委員長の報告を受けることとした。



へこたれない



笑顔に癒されながら 名寄市字緑丘 垣内 芽生

鍼灸整骨院に勤めてもうすぐ
2年になりますが、鍼灸治療に

来る方が多いことに驚いています。

頭痛、肩こり、腰痛、神経痛が主で、鍼と言うとすぐに「痛そう」と思いますが、治療を受けた方は、「知らないうちに終わった。」と言います。痛みに悩んで辛そうだった人が、どんどん笑顔になっていく顔を見られるのは、本当に感動ものです。

私は、先生方の助手の仕事をしています。日々緊張する場面が多く、失敗するたびにへこんだりもしていますが、患者さん方の笑顔に癒されながら、これからも頑張りたいです。



幸せな教師生活 風連町字瑞生 菊池 遥

下多寄小学校に勤めさせて頂き、約1年がたとうとしています。

こちらの学校で感じたことは、子どもが明るく快活で勤労意欲に溢れていることです。なぜこのような子どもに育っているのか、それは学校の特色でもある学校田活動にあると感じました。

田起こしから収穫祭まで一連の稲作を保護者の方々と行います。大人のたくましい姿は子ども達へも多大な影響力があり、一緒に作業を行うことで、勤労への意欲も育っていきます。

地域、保護者の皆さんと共に子ども達を育て、自然に学ぶ教育をする。私は、素敵な子ども達と学校に携わることができ、とても幸せです。

—訂正— 前号の「あすなる」で安達住義様の住所が西風連となっておりますが、豊里の誤りですので訂正しお詫び申し上げます。

議会日誌

- 3月20日・議会報特別委員会
- 4月2日・各会派代表者会議
- 25日・建設常任委員会
- 5月1日・各会派代表者会議
- 9日・各会派代表者会議
- 14日・第2回臨時会
- 15日・議長会宗谷線部会
- 21日・経済常任委員会
- 22日・総務文教常任委員会
- ・議員協議会
- 23日・建設常任委員会
- 24日・北海道市議会議長会道北議長会
- 25日・上川北部各種期成会合同窓会
- ・民生常任委員会

編集後記

4月22日執行の市議会議員選挙により、26議員による新しい議会がスタートしました。新総合計画に基づいた「住んでいて良かった」と実感できる“ふるさとづくり”に全力で取り組む決意です。

現憲法が誕生して60年という節目の年を迎えています。世界各地で平和を脅かす事件が多発しており、また我が国でも集団的自衛権行使の範囲をめぐる検討が開始されるなど、内外を問わず危うさは増しており、改めて今の憲法が持つ平和理念の重みをかみしめたいものです。

新しい議会報をお届けします。従来のタテ型からヨコ型へと変更し、数字等も含めて読みやすさを追求しました。

市民の皆様のご批評を頂ければ幸いです。(ま)



私達がお届けします 議会報特別委員会

